

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	市民活動部観光商工課担当課長 小澤 圭介
市民-11 観光振興事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課	観光商工課
	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	
総合計画上の位置付け	分野	観光	施策の方針
			観光都市としての質の向上

1 事業の目的

対象	観光客等
意図	多様な観光プログラムと鮮度の高い観光情報を提供するとともに、市民・事業者のホスピタリティの向上と観光客のモラルの向上を図るため。
効果	観光客にとっては、観光目的を達することによる満足感の高揚が図られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

2 平成27年度に実施した事業の概要

<p>かまくら四季のみどころや観光マップなどのパンフレット類やホームページの充実を図り、観光客への適切な情報提供に努めた。</p> <p>訪日外国人観光客受入環境整備のため、外国語ガイド活動の支援を行った。前年度からの繰越明許費により、屋外型観光拠点Wi-Fi接続環境整備事業を行った。</p> <p>国の地方創生加速化交付金を活用した光の波プロジェクト及び観光マイレージアプリの制作活用事業については、年度内に実施しないため、翌年度へ繰越しを行った。</p>
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	5,856	23,766	当初予算(千円)	12,701		
	国県支出金	782	18,140	国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他		440	その他	2,910		
	一般財源	5,074	5,186	一般財源	9,791		
	人員配置数	1.0	0.8	人員配置数	1.3		
	人件費(千円)	7,645	6,465	人件費(千円)	10,917		
事業経費運営	総事業費(千円)	13,501	30,231	総事業費(千円)	23,618		
	市民1人当りの経費(円)	76	171	市民1人当りの経費(円)	134		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△.負担未導入
		△-1. 今は受益者負担を求めているが、今後、負担の導入を検討する必要がある
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△.協働未実施
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	見直しの内容	東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、増加が見込まれる外国人観光客に対する観光案内サービスを充実させるため、外国語版パンフレット発行部数の増加や外国語ガイド活動に対する支援の拡大を図る。
	<input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする		<input type="checkbox"/> 縮小		
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する		<input type="checkbox"/> その他		
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →				事業へ統合

予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、増加が見込まれる外国人観光客に対する観光案内サービスを充実させる必要があるため、予算規模の拡大を要する。
	<input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする		
	<input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	今後も引き続き自主財源の確保に努めるとともに、オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、増加が見込まれる外国人観光客の受入体制の充実に向け、庁内全体での取組みを進めていく。
-------------------	---

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、増加が見込まれる外国人観光客の受入環境の充実を図る必要がある。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	①市内の店舗、社寺、宿泊施設及び外国人観光客が多く訪れると見込まれる施設60か所(70件)に屋内型Wi-Fi接続機器を設置、②鎌倉駅3(東口2、西口1)、北鎌倉駅2(県道側1、円覚寺境内側1)、長谷駅1、大船駅2(東口デッキ1、西口デッキ1)の合計8か所に屋外型Wi-Fi接続機器を設置、③無料Wi-Fiスポットを示す外国人旅行者向けのマップ等を作成し、外国人観光客が無料Wi-Fiスポットを簡単に探すことができる環境を整備した。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催に伴い増加が見込まれる外国人観光客の受入環境の充実を図る必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	入込観光客数等(平成26年) (単位:千人)								
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	逗子市	三浦市	横浜市
他市実績	21,960	17,738	2,627	7,075	4,514	7,847	800	5,707	44,258

比較事項									
団体名									
他市実績									

比較事項									
団体名									
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	県内全市町村対象に行う入込観光客数調査において、鎌倉市は横浜市に次ぐ延観光客が訪れており、観光案内所利用者も相対的に他市町に比べ多いことが伺える。
----------------------	---

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	鎌倉に来る前の期待に対する満足度(来訪者アンケート+WEBアンケート)					単位	%	指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
当該事業の実施により、観光客の満足度を向上させるため。	目標値	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%	85.0%		
	実績値	79.2%	79.5%						
	達成率	93.2%	93.5%						

指標の内容						単位		指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
	目標値								
	実績値								
	達成率								

指標の内容						単位		指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
	目標値								
	実績値								
	達成率								

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input checked="" type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	--